

西尾市同時

2025年2月5日(水)
愛知県防災安全局防災部
防災危機管理課防災拠点推進室
担当 黒原、杉浦
内線 5450、2524
ダイヤル 052-954-7478

ゼロメートル地帯広域防災活動拠点（西三河南部地域・西尾市） の供用を開始します

愛知県では、南海トラフ地震等の発生に備え、ゼロメートル地帯において、堤防沈下や津波による浸水被害から県民の生命を守るため、浸水区域に残された人々をボートやヘリコプターにより迅速に救助し、浸水区域外へ救出することを目的とする「ゼロメートル地帯広域防災活動拠点」（以下「防災拠点」という。）の整備を進めています。

この度、県内2か所目（計画4か所）となる西三河南部地域・西尾市の「防災拠点」が完成し、2025年3月15日（土）から供用を開始しますのでお知らせします（1か所目 木曾三川下流域Ⅰ・愛西市）。

また、供用開始に当たり、下記のとおり開所式及び運用訓練を実施します。

記

1 防災拠点の概要

(1) 供用開始日

2025年3月15日（土）

(2) 所在地

西尾市行用町見^{ぎょうようちょうみ}せだ

(3) 施設概要

敷地面積：約17,500㎡

上面部面積：約11,500㎡

盛土高：約3.5m

設置施設：ヘリコプター離発着場

（ヘリポート）

救出・救助ボート船着場

防災倉庫

(4) 整備費

約15億円

(5) 整備期間

2021年7月から2025年3月まで（約4年間）



< 2025年1月29日時点 現地状況 >

2 開所式

(1) 日時

2025年3月15日（土）午前11時から正午まで ※雨天決行

(2) 場所

防災拠点内（会場案内図のとおり）

(3) 主催

愛知県

(4) 主な出席者（予定）

愛知県知事、県議会議長、関係市町長、防災関係機関の長 約 50 名

(5) 次第

- ・式典(11:00～11:25)
 - ・① 開会
 - ・② 知事挨拶
 - ・③ 来賓祝辞
 - ・④ テープカット
 - ・防災倉庫内覧会(11:25～11:45)
 - ・防災ヘリコプター機体紹介(11:45～12:00)（搭乗員による機体説明）
- ※ 雨天の場合は中止

3 運用訓練

(1) 日時（予定）

2025年3月15日（土）午後1時から午後3時まで

※雨天時は3月22日（土）午後1時から午後3時までに延期

(2) 場所

防災拠点内（会場案内図のとおり）

(3) 参加機関（予定）

愛知県、愛知県警察本部、西尾市、西尾市消防本部、西尾市消防団、西尾市自主防災会、陸上自衛隊第10師団、第四管区海上保安本部、名古屋市消防局

(4) 訓練項目

- ① 拠点運用
- ② ボートによる救出・救助
- ③ 要救助者受付
- ④ ヘリコプター（陸上自衛隊、愛知県警察、第四管区海上保安本部）による救助者搬送等

4. 開所式及び運用訓練の取材について

- ・取材を希望される方は、会場等のスペースの都合上、以下の「取材申込票」へ必要事項を明記の上、2025年3月10日（月）午後5時までに下記の取材申込先へFAX又はメールにて御連絡ください。
- ・申込後、駐車位置の案内、駐車券を送付しますので、当日、フロントガラスに貼付してください。
- ・当日は会場及び一部会場付近への立入りを制限しますので、受付後、係員の指示に従ってください。

※ 一般の方の来場（開所式・運用訓練）について

- ・会場付近の一部道路は狭く、路上駐車をされると近隣にお住いの方々の御迷惑になるとともに、ヘリコプターの離発着に支障がありますので、御遠慮ください。
- ・ヘリコプターの離発着にかかる安全管理上、会場及び一部会場付近への立入りを制限するとともに、ヘリの離発着時には断続的に隣接する道路の車両通行規制を実施しますので、御協力をお願いいたします。

【会場案内図】

<広域図>



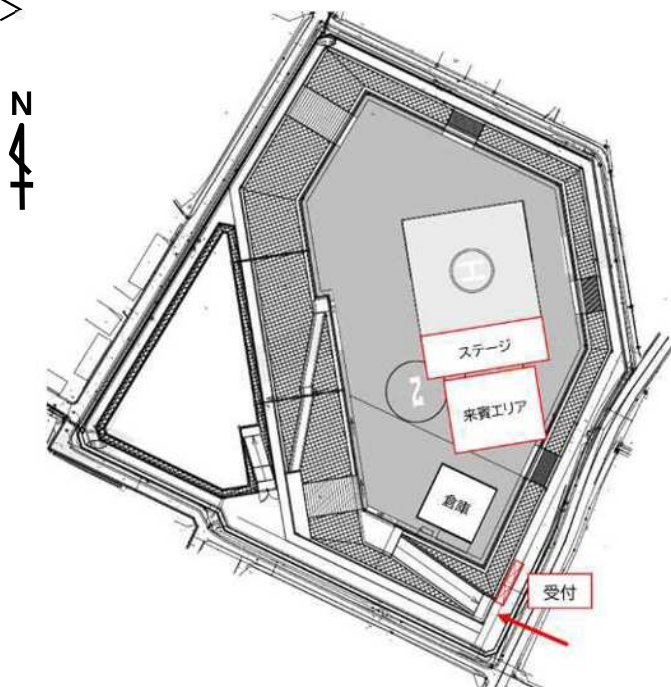
出典：地理院地図（電子国土web）を加工して作成

<位置図>



出典：地理院地図（電子国土web）を加工して作成

<会場詳細図>



【取材申込先】

愛知県防災安全局防災部防災危機管理課 防災拠点推進室

担当 黒原・杉浦（内線5450、2524）

電話 052—954—7478

FAX 052—962—9060

メール bosai-kyoten@pref.aichi.lg.jp

ゼロメートル地帯広域防災活動拠点(西尾市) 取材申込票	
取材区分	開所式 ・ 運用訓練 ・ 両方
会社名・部署名	
担当者名	
人数	
電話番号	
メール	
車両情報	車種: 登録番号:

ゼロメートル地帯広域防災活動拠点（西三河南部地域・西尾市）について

1 全体概要

(1) 所在地

西尾市行用町見セ田

(2) 規模等

- 敷地面積 : 約 17,500 m²
- 上面部面積 : 約 11,500 m²
- 盛土高 : 約 3.5m

(3) 防災拠点機能

- ヘリポート
- 救出・救助ボート船着場
- 防災倉庫

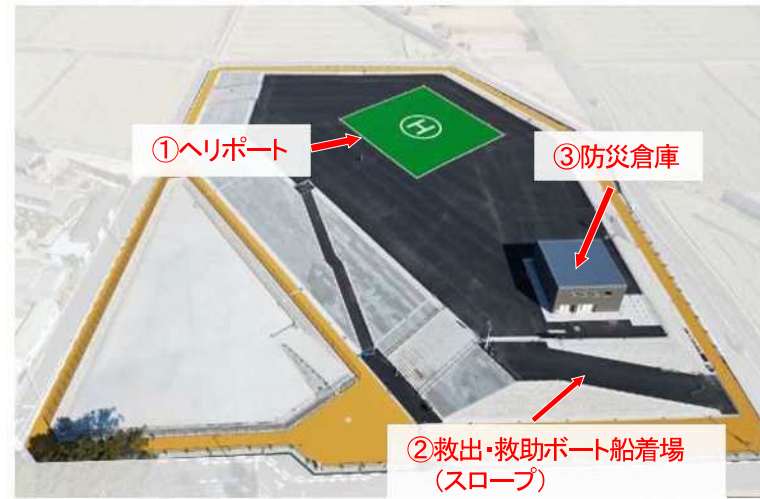
(4) 整備費

約 15 億円

(5) 経緯

- | | |
|--------|------------------------------|
| 2019年度 | 基本設計 |
| 2020年度 | 実施設計 |
| 2021年度 | 地盤改良工事 |
| 2022年度 | 敷地造成工事、防災倉庫設計
西尾市より県へ土地譲渡 |
| 2023年度 | 敷地造成工事、防災倉庫建築、資機材整備 |
| 2024年度 | 仕上工事、供用開始 |

【2025年1月29日 現地状況】

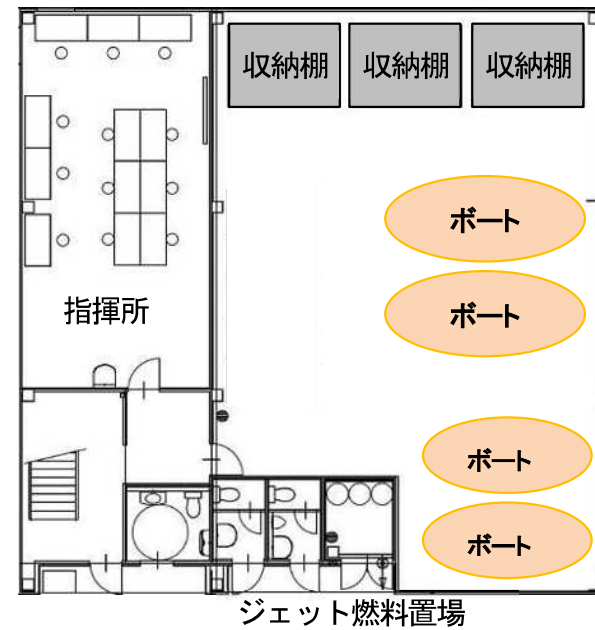


2 防災倉庫の概要



<仕様>

- 構造・階数: 鉄骨造・地上2階
- 建築面積 : 248.38 m²
- 延べ床面積 : 489.35 m²
- 最高高さ : 7.490m



3 防災倉庫内の主な資機材

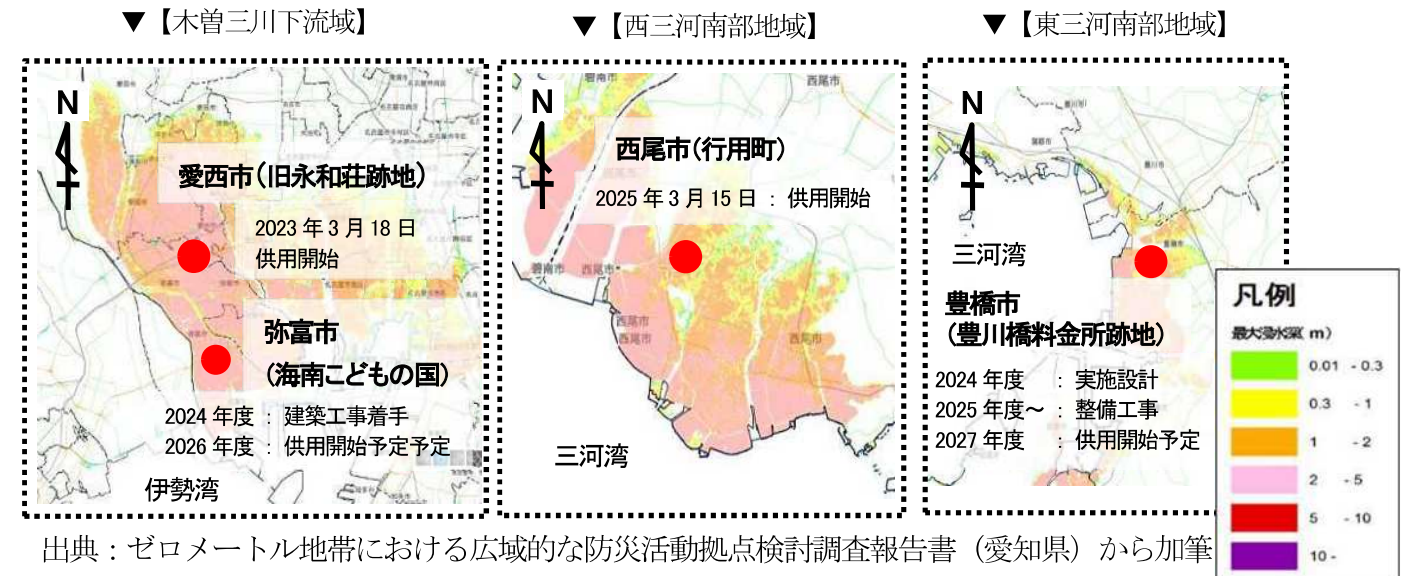
資機材	用途	数量
ボート	救出・救助用	4艇 (8人乗り×2艇、10人乗り×2艇)
発電機	発電用	1台
救助工具セット (ロープ、救急工具等)	救出・救助用 (予備を含む)	5セット
飲料水 (ペットボトル)	災害救助用	500ml × 4,608本
毛布	災害救助用	450枚

4 拠点運用イメージ

- 避難ビルに避難した人々や自宅の2階に取り残された人々をボートやヘリコプターにより迅速に救助。
- 効率的な救助・救出活動を実施するため、救助現場と拠点をピストンにて活動。
- この拠点到救出された救助者をまとめて大型ヘリコプターにより、浸水地域外（内陸地）へ搬送。



参考：県内の広域防災活動拠点の状況



出典：ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点検討調査報告書（愛知県）から加筆